

CLUSTERPRO[®] X *for Windows*

PPガイド(ネットワークマネージャ)

2017.09.29
第03版

CLUSTERPRO

改版履歴

版数	改版日付	内容
1	2012/08/10	PPガイドより分冊し、新規作成
2	2014/07/31	ネットワークマネージャ Ver5.3 対応
3	2017/09/29	ネットワークマネージャ Ver5.4 対応

© Copyright NEC Corporation 2008-2017. All rights reserved.

免責事項

本書の内容は、予告なしに変更されることがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任をおいませぬ。

また、お客様が期待される効果を得るために、本書に従った導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

本書に記載されている内容の著作権は、日本電気株式会社に帰属します。本書の内容の一部または全部を日本電気株式会社の許諾なしに複製、改変、および翻訳することは禁止されています。

商標情報

CLUSTERPRO® X は日本電気株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

本書に記載されたその他の製品名および標語は、各社の商標または登録商標です。

その他のシステム名、社名、製品名等はそれぞれの会社の商標及び登録商標です。

目次

はじめに.....	i
対象読者と目的.....	i
適用範囲.....	i
CLUSTERPRO マニュアル体系.....	ii
本書の表記規則.....	iii
最新情報の入手先.....	iv
第 1 章 ネットワークマネージャ.....	1
機能概要.....	1
機能範囲.....	1
動作環境.....	1
インストール手順.....	2
注意事項.....	2

はじめに

対象読者と目的

『CLUSTERPRO® PPガイド』は、クラスタシステムに関して、システムを構築する管理者、およびユーザサポートを行うシステムエンジニア、保守員を対象にしています。

本書では、CLUSTERPRO環境下での動作確認が取れたソフトウェアをご紹介します。ここで紹介するソフトウェアや設定例は、あくまで参考情報としてご提供するものであり、各ソフトウェアの動作保証をするものではありません。

適用範囲

本書は、以下の製品を対象としています。

- CLUSTERPRO X 3.3 for Windows
- CLUSTERPRO X 3.2 for Windows
- CLUSTERPRO X 3.1 for Windows
- CLUSTERPRO X 3.0 for Windows
- CLUSTERPRO X 2.1 for Windows
- CLUSTERPRO X 2.0 for Windows

CLUSTERPRO マニュアル体系

CLUSTERPRO のマニュアルは、以下の 4 つに分類されます。各ガイドのタイトルと役割を以下に示します。

『CLUSTERPRO X スタートアップガイド』(Getting Started Guide)

CLUSTERPRO を使用するユーザを対象読者とし、製品概要、動作環境、アップデート情報、既知の問題などについて記載します。

『CLUSTERPRO X インストール & 設定ガイド』(Install and Configuration Guide)

CLUSTERPRO を使用したクラスタ システムの導入を行うシステム エンジニアと、クラスタシステム導入後の保守・運用を行うシステム管理者を対象読者とし、CLUSTERPRO を使用したクラスタ システム導入から運用開始前までに必須の事項について説明します。実際にクラスタ システムを導入する際の順番に則して、CLUSTERPRO を使用したクラスタ システムの設計方法、CLUSTERPRO のインストールと設定手順、設定後の確認、運用開始前の評価方法について説明します。

『CLUSTERPRO X リファレンス ガイド』(Reference Guide)

管理者、およびCLUSTERPRO を使用したクラスタ システムの導入を行うシステム エンジニアを対象とし、CLUSTERPRO の運用手順、各モジュールの機能説明、メンテナンス関連情報およびトラブルシューティング情報等を記載します。『インストール & 設定ガイド』を補完する役割を持ちます。

『CLUSTERPRO X 統合WebManager 管理者ガイド』(Integrated WebManager Administrator's Guide)

CLUSTERPRO を使用したクラスタシステムを CLUSTERPRO 統合WebManager で管理するシステム管理者、および統合WebManager の導入を行うシステムエンジニアを対象読者とし、統合WebManager を使用したクラスタシステム導入時に必須の事項について、実際の手順に則して詳細を説明します。

本書の表記規則

本書では、「注」および「重要」を以下のように表記します。

注: は、重要ではあるがデータ損失やシステムおよび機器の損傷には関連しない情報を表します。

重要: は、データ損失やシステムおよび機器の損傷を回避するために必要な情報を表します。

関連情報: は、参照先の情報の場所を表します。

また、本書では以下の表記法を使用します。

表記	使用方法	例
[] 角かっこ	コマンド名の前後 画面に表示される語 (ダイアログ ボックス、メニューなど) の前後	[スタート] をクリックします。 [プロパティ] ダイアログ ボックス
コマンドライン中の [] 角かっこ	かっこ内の値の指定が省略可能であることを示します。	<code>clpstat -s[-h host_name]</code>
モノスペース フォント (courier)	コマンド ライン、関数、パラメータ	<code>clpstat -s</code>
モノスペース フォント太字 (courier)	ユーザが実際にコマンドプロンプトから入力する値を示します。	以下を入力します。 <code>clpcl -s -a</code>
モノスペース フォント (courier) 斜体	ユーザが有効な値に置き換えて入力する項目	<code>clpstat -s [-h host_name]</code>

最新情報の入手先

最新の製品情報については、以下のWebサイトを参照してください。

<http://jpn.nec.com/clusterpro/>

第 1 章 ネットワークマネージャ

機能概要

ネットワークマネージャ Ver5.2、Ver5.3 および Ver5.4 を、CLUSTERPRO X 環境下で利用する際の機能概要について以下に記述します。

- ◆ 片方向スタンバイ運用のサポート
ネットワークマネージャ Ver5.2、Ver5.3 および Ver5.4 を現用／待機両系のサーバにインストールし、フェイルオーバー発生時に待機系サーバを使って運用を継続することができます。(ネットワークマネージャ は、シングルインスタンス/ノードです。双方向スタンバイはサポートしません。)
- ◆ フローティングIPアドレス(または仮想IPアドレス)による通信
フローティングIPアドレス(または仮想IPアドレス)を使用することにより、フェイルオーバーが発生した場合、相手ホストやクライアントからは、サーバが切り替わったことを意識する必要がありません。

機能範囲

ネットワークマネージャ Ver5.2、Ver5.3 および Ver5.4 は、二重化システムにおいても、通常のシングルサーバと同様に動作します。サポートするホスト通信プロトコルは、TCP/IP 手順のみとなります。

動作環境

ネットワークマネージャ Ver5.2、Ver5.3 および Ver5.4 は、以下の OS をサポートしています。

	Windows 2016 Standard (x64)	Windows 2012 Standard (x64) Windows 2012 R2 Standard (x64)	Windows 2008 Standard (x64) Windows 2008 R2 Standard (x64)	Windows 2003, Standard Edition (x64) Windows 2003, Standard Edition R2 (x64)
Ver5.4	○	○	○	×
Ver5.3	×	○	○	×
Ver5.2	×	×	○	○

○: サポートしています。

×: サポートしていません。

次のバージョンの CLUSTERPRO X と連携動作可能です。

- ・ CLUSTERPRO X 2.0
- ・ CLUSTERPRO X 2.1
- ・ CLUSTERPRO X 3.0
- ・ CLUSTERPRO X 3.1
- ・ CLUSTERPRO X 3.2
- ・ CLUSTERPRO X 3.3

インストール手順

以下の手順に従って、インストールおよび環境設定をしてください。CLUSTERPRO X のフローティング IP 設定および仮想コンピュータ名設定については、CLUSTERPRO X リファレンスガイドを参照し、ネットワークマネージャをインストールする前に行ってください。

(1) ネットワークマネージャ のインストール

現用系／待機系ともに、「ネットワークマネージャ Ver5.x メディアキット for Express サーバ」の媒体を使用して、ネットワークマネージャをローカルディスクにそれぞれ別々にインストールします。メディアキットの媒体は1枚で利用可能ですが、ネットワークマネージャのライセンスは、2台分必要です。

ネットワークマネージャのクライアントのインストールも同様で、メディアキットの媒体が必要になります。それぞれインストールが必要です。

なお、インストール方法については、ネットワークマネージャに付属のセットアップカードを参照してください。

(2) 環境設定

現用系／待機系ともに、ネットワークマネージャの環境設定を行います。

現用系／待機系ともに同じ環境設定をそれぞれ定義します。

現用系／待機系サーバのネットワークマネージャの通信リソース定義では、「CLUSTERPRO X リソース名」の項目に CLUSTERPRO X で定義した「フローティング IP アドレス」または「仮想 IP アドレス」の「リソース名」を設定します。また、ネットワークマネージャの起動属性を「自動起動する」に変更します。

クライアントのネットワークマネージャの定義では、論理通信リソース名定義の「サーバ名」の項目に CLUSTERPRO X で定義した「仮想コンピュータ名」を定義します。

(3) 以上で、インストール／定義情報設定は完了です。

マシンを再起動することで、ネットワークマネージャが自動起動します。

注意事項

- ・ サーバ上で動作するアプリケーションは、フェイルオーバーに連動して再起動が必要です。
- ・ ネットワークマネージャの常駐リソース指定は行わないでください。